※について記載して提出願います

① GNSS設置・計測　単価表（1基当り）

（ 1基　当り）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
GNSS基準局設置		式	1				
①GNSS基準局　配置検討	労務費	式	1	※			
②GNSS基準局　設置	材・工含む	基	3	※			
③GNSS基準局　設定調整	労務費	式	1	※			
④GNSSシステム構築	材・工含む	式	1	※			
⑤GNSS計測		月	10	※			

1） 本見積は、GNSSセンサー14基の計測に当たって、必要なとなる基準局3基分の設置、検討にかかる費用、及びGNSS計測システムの構築並びに計測にかかる費用を計上してください。

2） 詳細は別添見積仕様書をご確認ください。

3） 運搬費を含む現地（栃木県鹿沼市上南摩町地内）着単価とし、消費税を含まない額としてください。

【別紙１】見積書の様式〈例〉

①　GNSS基準局配置検討

項目及び規格	単位	員数及び数量	単価	摘要
GNSS基準局配置検討				**【1式当り】**
技師（Ｂ）	人			
技師（Ｃ）	人			
技術員	人			
諸雑費（まるめ）	式	1		

(1)　GNSS基準局配置検討（現地調査含む）にかかる1式当りの労務構成を記載してください。
上表に明示している構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。

(2)　見積り条件
- 実施箇所は栃木県鹿沼市上南摩地内です。
- 旅費、交通費は見積り対象外とします。

②　GNSS基準局設置

項目及び規格	単位	員数及び数量	単価	摘要
GNSS基準局設置				**【1基当り】**
GNSS基準局	基	1		
技師（Ｂ）	人			
技師（Ｃ）	人			
技術員	人			
諸雑費（まるめ）	式	1		

(1)　GNSS基準局設置にかかる1基当りの労務構成を記載してください。
上表に明示している構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。

(2)　見積り条件
- GNSS基準局のコンクリート基礎は別途計上するものとし見積り対象外とします。
- 実施箇所は栃木県鹿沼市上南摩地内です。
- 旅費、交通費は見積り対象外とします。

③　GNSS基準局設定調整

項目及び規格	単位	員数及び数量	単価	摘要
GNSS基準局設定調整				**【1式当り】**
技師（Ｂ）	人			
技師（Ｃ）	人			
技術員	人			
諸雑費（まるめ）	式	1		

(1)　GNSS基準局設定調整にかかる1式当りの労務構成を記載してください。
上表に明示している構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。

(2)　見積り条件
- 実施箇所は栃木県鹿沼市上南摩地内です。
- 旅費、交通費は見積り対象外とします。

④　GNSS計測システム構築

項目及び規格	単位	員数及び数量	単価	摘要
GNSS計測システム構築				**【1式当り】**
技師（Ｂ）	人			
技師（Ｃ）	人			
技術員	人			
データ収集ソフトウェア	式	1		
LTE回線費用	式	1		
諸雑費（まるめ）	式	1		

（1）　GNSS計測システム構築にかかる1式当りの労務構成を記載してください。
上表に明示している構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。

（2）　見積り条件

- GNSS観測点（14箇所）の観測は、1回/1時間の連続計測監視とし専用PCにデータ収録するとともに、毎正時Web配信できるシステムを想定しています。
- 端末（専用PC）は発注者にて用意するため、見積対象外とします。
- 実施箇所は栃木県鹿沼市上南摩地内です。
- 旅費、交通費は見積り対象外とします。

⑤　GNSS計測

項目及び規格	単位	員数及び数量	単価	摘要
GNSS計測				**【1月当り】**
サーバ使用料	月	1		
回線使用料	月	1		
諸雑費（まるめ）	式	1		

（1）　GNSS計測にかかる1月当りの労務構成を記載してください。
上表に明示している構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。

（2）　見積り条件

- WEB配信にかかるザーバ使用料、回線使用料にかかる1月当たりの費用を計上してください。
- 測定期間は、10ヶ月間を想定しています。
- 計測は自動配信を基本とし、労務費は発生しないものと考えていますが、計測値の監視等が必要なシステムを採用する場合は、労務費を必要に応じて計上してください。

見積仕様書（GNSS設置・計測）

第 1 節　GNSS 設置および計測監視

1-1　計器設置

1.　現地踏査

受注者は、検討に必要な現地状況等を把握するため現地踏査を行うものとする。現地踏査では、地形、植生、周辺構造物、上空視界等の周辺条件の把握のほか、GNSS 自動変位計測システム（GNSS 観測点、基準点）の設置位置、施工性、経済性、維持管理上の安全性等の判断に必要な基礎的な現地状況を把握するものとする。

2.　GNSS 自動変位計測システム配置箇所の検討

貸与資料及び現地踏査の結果を踏まえ、自動変位計測システムのうち GNSS 観測点を除いた基準局の配置箇所の検討を行う。なお、GNSS 観測点（14 箇所）の配置は見積対象外とする。

検討にあたっては、地盤の不動性、上空視界環境、周辺環境等を勘案するものとする。

基準点の設置箇所は 3 箇所とする。

3.　GNSS 自動変位計測システム設置

受注者は、以下の項目を勘案した上で、GNSS 観測点（14 箇所）【見積対象外】、基準点（3 箇所）の設置を行うものとする。計器の制作に当たっては、各種図面（配置平面図、配置断面図、機器設置構造図、システム構成図等）の作成を行い、監督員の承諾を得るものとする。

１）南摩ダム地点の気象等（気温、風、積雪、凍上など）の諸条件

２）GNSS 観測データの伝送方法

３）GNSS 機器を稼働させるための電力供給方法

４）GNSS センサの設置方法（支柱及び基礎等の構造計算を含む）

1-2　計測

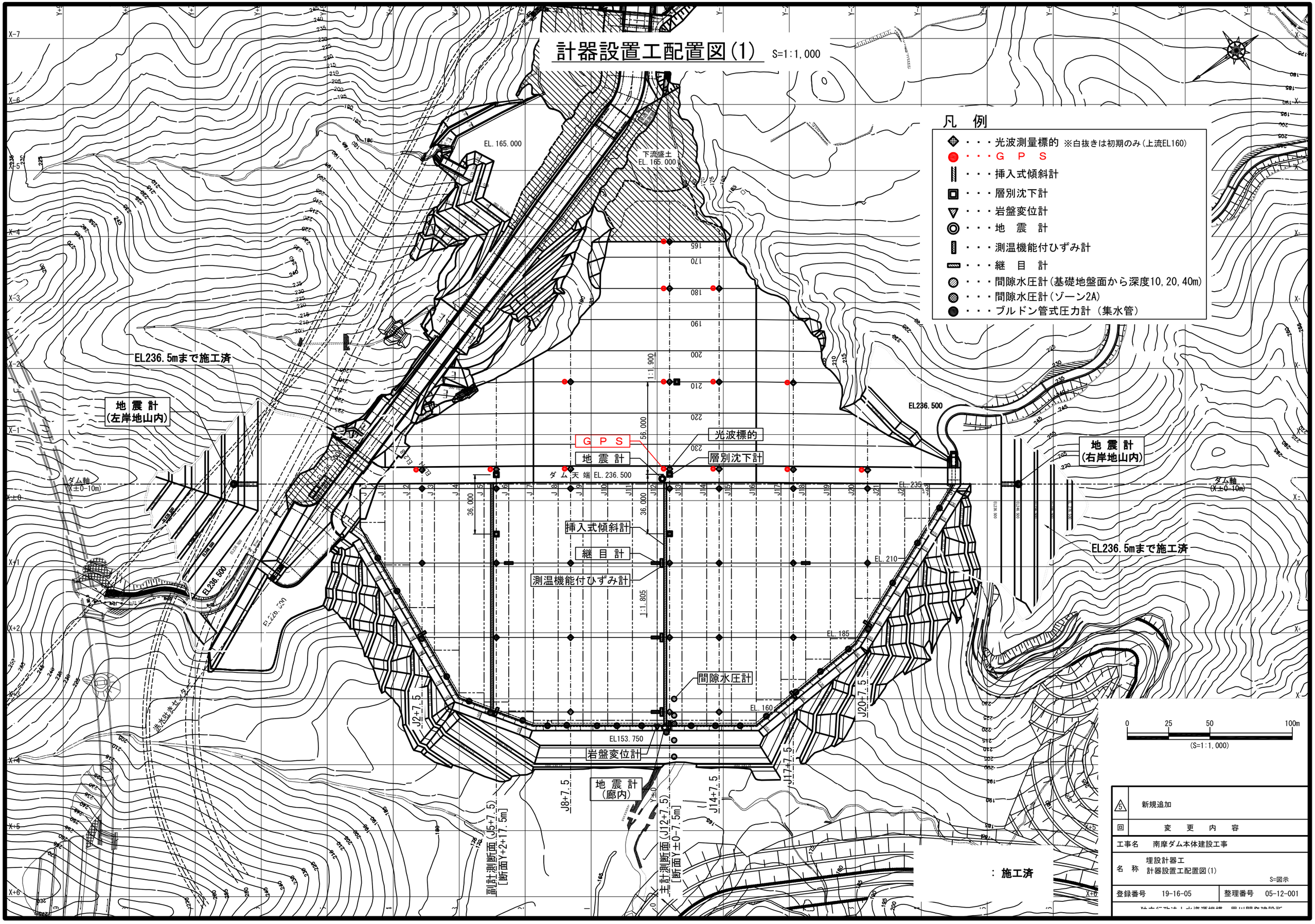
1.　堤体盛立完了後の GNSS 堤体挙動観測

受注者は、堤体盛立完了後に各箇所で計測可能となった時点から令和 6 年 5 月 31 日まで、GNSS による堤体変位挙動の観測を行うものとする。（測定期間 10 ヶ月間程度）

GNSS 観測は 1 回/1 時間の連続計測とし、専用 PC にデータ収録するとともに、毎正時 Web 配信するものとする。

計器設置工配置図(1)

S=1:1,000



5	新規追加
回	変 更 内 容
工事名	南摩ダム本体建設工事
名 称	埋設計器工 計器設置工配置図(1)
	S=図示
登録番号 19-16-05	整理番号 05-12-001